

×××

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあげさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

アーメン

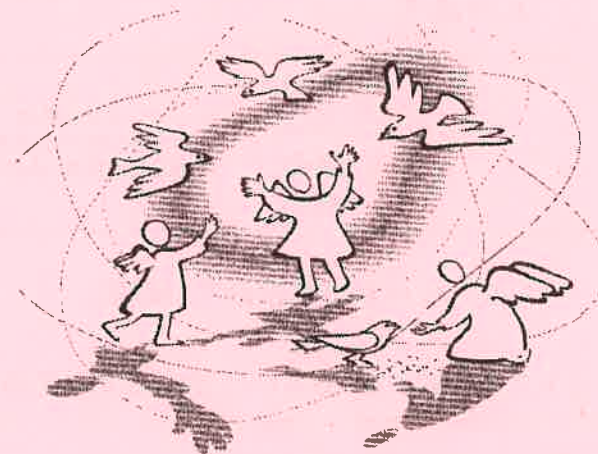
×××

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会ったイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3
電話/FAX: 0225-22-4090
ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>
メール: i-eikou@tohoku.uccj.jp
振替口座: 02280-8-2810
教会創立: 1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10:30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前7:30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後7:30

2026年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2538		2026年8月30日	
礼拝順序			
		受付 司会 献金 奏楽	礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
前奏			
招きの言葉	[28] ヨハネの黙示録第3章8節	司会者	
讃美歌	32	一同	
	子どもたちへのお話 あるいは 悔い改めの黙祷		
讃美歌	57 (2節)	一同	
聖書	マタイ伝 25 : 40		
	(新共同訳聖書の新約聖書 51 ページ・または下記を参照)		
祈り		司会者	
讃美歌	515 (1-2節)	一同	
お話し	「この小さな一人に」		
		川上直哉 牧師	
讃美歌	515 (2-3節)	一同	
献金		一同	
報告		司会者	
讃美歌	90 (3節)	一同	
祝福の祈り			
後奏			
*当教会では 着席のまま礼拝を守っています。 *旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。 *献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。			
∞〇∞〇∞〇∞〇∞ 本日の聖書 ∞〇∞〇∞〇∞〇∞ あなたがたによく言うておく。 わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、 すなわち、わたしにしたのである。			

∞∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞∞	
☆「遠足」 8月31日(月) 8:30～	
☆「初心に帰ってマルコ伝を読む」会 9月1日(火)10:30～ オンライン併用	
☆「御言葉と祈りの時」 9月2日(水)19:30～ オンライン併用	
∞∞∞∞ 次週の予告 (9/6) ∞∞∞∞	
☆ 主日礼拝 (お話：川上直哉 牧師)	
[聖 書] 「主がよくしてくださったことを 何一つ 忘れるな」 [お 話] 詩篇103:2 [讃美歌] 32 57 515 90 [招きの言葉] 28	
受付 奏楽	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。

∞〇∞〇∞〇∞〇∞ お知らせ ∞〇∞〇∞〇∞〇∞	
✦今後の予定は以下の通りです	
・9月6日(日)日本基督教団柴宿教会にて礼拝(14時半～)	
・9月13日(日)10時半からの礼拝を中澤宣教師が担当	
この日、川上牧師はワイズメンズクラブ国際大会でマレーシアに出張	
・9月20日(日)日本基督教団石巻栄光教会創立記念礼拝	
・10月8日(木)「すすきだ音楽隊」コンサート(10時半～)	
・10月11日(日)日本基督教団柴宿教会で礼拝奉仕(14時半～)	
・10月25日(日)地区講壇交換	

《 先週の集会統計 》			
聖日礼拝	9人	み言葉と祈りの会	6人
早朝礼拝	3人	聖餐式	-
月定献金		特別献金	
席上献金		¥28,000	

週報別冊

2026年8月30日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督石巻栄光教会関係】

- 「いずみのほとり」(日本基督教団東北教区放射能問題支援対策室・いずみ)：「原発事故、わたしたちのこれから」を主題とした証言集を頂きました。齋藤みや子さんの寄稿「子育て中のお母さんの不安からはじまった じょうこ検査」等が掲載されています。
- 「創立 150 周年記念礼拝のご案内」(日本基督教団平安教会)：「新島襄は、1876 年 11 月 26 日に京都第一公会を、12 月 3 日に京都第二公会を、12 月 10 日に京都第三公会という自由を重んじる会主義の流れを汲むキリスト教会を設立しました。やがて、第一公会と第三公会が合同して平安教会となりました」とのことで、12 月 6 日に創立記念礼拝をおこなう旨の連絡を頂きました。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「教団新報」(日本基督教団)：「福音のともしびを灯し続けたい」と題して、布田先生が涌谷教会の様子を報告しています。また、日本基督教団出版局の経営破綻を受けて業務を引き継いだ株式会社アイ・パブリッシングの佐治一路さん(日本基督教団三崎町教会員)の紹介記事などが掲載されています。
- 「献堂式の記録」(日本基督教団堀切こうとう教会)：「江東伝道所と堀切教会は神さまの導きとお祈りに支えられて、堀切こうとう教会として合同し、出発することができました。そして 2024 年 2 月 25 日、主日礼拝後午後 2 時より前東支区長・西新井教会 林牧人牧師の司式によって、設立式・献堂式が行われました・・・今までに全国から約 300 万円が献げられ、献堂式の献金とあわせると 400 万円が献げられました」とのことで、記念誌を頂きました。
- 「学校案内」「募集案内」(日本聖書神学校)：「働き、祈り、学ぶ、夜間の神学校」と自己紹介をする日本基督教団の神学校からの通信を頂きました。

- 「創立記念日献金のお願い」(日本基督教団伝道委員会)：「9 月 25 日に創立記念日(献堂記念日)139 周年を迎えることを覚え・・・全国各地での『開拓伝道』(できるだけ広い意味でこの言葉を使いたいと思っています)に対して、土地取得、会堂・牧師館の建築、あるいは宣教の拠点確保のために、教団からの援助金として」用いるための創立記念日献金の要請と、2025 年の献金(創立記念日献金 4,512,763 円・82 件/開拓伝道援助支援献金 966,861 円・82 件)とその送金内容(3 教会・540 万円)の報告を頂きました。
- 「いずみ」(日本基督教団東北教区放射能問題支援室・いずみ)：「3.11 子どもの甲状腺がん裁判を傍聴して」(いずみ協力委員 保科隆さん)等が掲載されています。

【その他団体・教会関係】

- 「NCC ネットワークニュース」(日本キリスト教協議会)：「知っておきたい 10 のこと——教会に赴任する前に・牧師を迎える前に」(キリスト新聞編集長 松谷信司さん)等が掲載されています。
- 「E-net ニュースレター」(エキュメニカルネットワーク)：米国の教会とシオニズムについての講演会をオンラインで行う案内を頂きました。
- 「THE GIDEON TODAY」(日本国際ギデオン協会)：7 月 3～5 日に横浜で「第 75 回 全国大会」が横浜で開催されたことの報告等が掲載されています。
- 「FEBC 1566」(キリスト教放送局 FEBC ニュース)：「主は何のために歩いているのか」(日本正教会大阪ハリストス正教会管轄司祭 ゲオルギイ松島雄一さん)等が掲載されています。
- 「福島原発事故から 15 年 福島の小児甲状腺ガン罹患者と共に歩んで」(仙台 YWCA)：ジャーナリストの白石草(はじめ)さんと精神科医の蟻塚亮二さんの講演会が 8 月 29 日(土)に行われたことの連絡を頂きました。
- 「YMCA NEWS」(盛岡 YMCA)：カナダで開催された世界 YMCA 大会の報告「限界を決めないことで広がる可能性」(岩手大学 3 年 横山結花さん)等が掲載されています。

- 「第 76 回 キリスト教教育週間」(日本キリスト教協議会教育部): ブラジル=10 月 18~25 日までを募金期間として、「教会が取り組む青少年育成プログラムへの支援/バグラディッシュ=障害を負う子どもの養育支援/アイヌ奨学金/外国をルーツを持つ福島と四国の子どもの教育支援のための献金の要請を頂きました。

2. 牧師動静

8月24日(月)

午前中、休暇を頂き、午後、教会で執務し、夜にワイズメンズクラブの会合と「ラカン」読書会にオンラインで参加しました。

8月25日(火)

午前中、「初心に帰ってルカ福音書を読む」を主宰し、午後、ワイズメンズクラブの会議を仙台でし、夜、「支倉国際合唱祭」の練習を仙台宮城野教会で主宰しました。

8月26日(水)

午前中、休暇を頂き、午後、世界宗教者平和会議日本委員会の災害関係の会議にオンラインで出席し、夕方、東京からお越しのお客様を接遇し、夜、祈祷会を主宰しました。

8月27日(木)

午前中、東京からお越しのお客様たちを、佐々木玲哉先生・川上灯さんと一緒に東北クリスチャン・ツアーにお連れし、夜、「本田哲郎」読書会をオンラインで主宰しました。

8月28日(金)

日中、休暇を頂き、夜、ワイズメンズクラブの例会に出席しました。

8月29日(土)

日中、仙台で、反貧困みやぎネットワーク主催「なんでも相談会」を主催しました。

- 1887 年 9 月 25 日に日本基督教団石巻栄光教会(日本組合石巻基督教会・日本クリスチャン教会)が設立されたことを記念して、記念事業を行います。先週の役員会で、(1)9 月 20 日に創立記念礼拝を行い、(2)その礼拝の後に映画「ブラザーサン・シスタームーン」の鑑賞会を行い、(3)ホームページのリニューアルを行う事としました。

- 今年の熊本震災への募金を感謝します。中澤宣教師が先々週に現地に視察をし、10 年前の震災時に立ち上がった「九州キリスト教災害支援センター」が良い働きをしておられる様子を、川上牧師に報告くださいました。また、現地の浄土真宗大谷派光照寺住職の糸山公照さんのご様子を、川上牧師が聞き取りをしました(すぐそばの公共避難所が地震のために使用不能となったとのことです)。役員会で稟議をし、この二か所に、10,100 円ずつ献金をする事とし、送金いたしました。

8月31日(月)

日中、教会の「遠足」で鬼首へ行っています。

9月1日(火)

午前中、「初心に帰ってマルコ福音書を読む」を主宰し、午後、仙台で執務し、夜、「支倉国際合唱祭」の練習を仙台宮城野教会で主宰します。

9月2日(水)

日中、宮城刑務所で教誨活動をし、夜、祈祷会を主宰します。

9月3日(木)

午前中、一件の訪問をして「大人の教会学校」と聖餐式をし、午後、仙台で宮城県宗教法人連絡協議会常任幹事会に出席しています。

9月4日(金)

日中、カトリック山形教会を訪ねて「全国かくれクリスチャン研究会」の会議をし、夕方、エキュメニカルネットワークの後援会にオンラインで参加し、夜、ワイズメンズクラブの役員会に出席します。

9月5日(土)

日中、みちのく潮風トレイルを歩いています。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。
日程を調整して、お会いしたく存じます。

伝 道 報 告

伝道の

TOMOSHIBI ともしび

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」

ルカによる福音書第10章17節～20節

伝道推進室より応援した教会・伝道所

福音のともしびを灯し続けたい

涌谷教会牧師 布田 秀治

2026年5月17日、遠く近くから52名の人たちが駆けつけてくださり、7年ぶりに牧師就任式が執行されました。2000年3月に、それまで教会附属保育園であった涌谷保育園を社会福祉法人として移行しました。その時「協定」を両者で交わし、涌谷教会牧師が保育園の理事長・園長となることを約されていますので、車の両輪のように対応して、牧師を招聘してきました。しか

しとても残念なことに、2019年度から、「社会福祉法人と宗教法人は別々の法人なので」「協定は無効」「互いに干渉しないこと」と主張し、一方的に断ち切られてしまいました。そのため、涌谷教会では牧師を招聘できなくなっていました。地区・教区・教団に窮状を訴え続けてきましたが、教会が解消されていくのを待っているかのように、時間が流れてきました。しかし確実に、教会が訴えられた裁判を始めとして、一歩ずつ道が開かれてきています。

また、時間も流れてきました。しかし確実に、教会が訴えられた裁判を始めとして、一歩ずつ道が開かれてきています。

思ひもかけない神さまの恵みと祝福の中で就任式を終え、原点に立ち帰って、一つずつ信頼関係を築いていこうと歩み始めています。本当に、全国各地の諸教会からたくさんの支援を寄せていただいています。地方の教会がこんなにも多くの皆さんから覚えてお祈りいただけていることに感動し、感謝しています。言葉に尽くせない励ましと慰めをいただき力付けられています。いつも、神さまが私たちの真ん中に立ってください、和解と平和の道が開かれることを祈り続けています。ヤーウエ・イルエ（主の山に備えあり）を信じ、希望に胸膨らませて歩み始めています。なお、続けて皆様からのお祈りのお支えをお願い致します。



牧師就任式（前列中央：筆者）

涌谷教会には二つの歴史があります。一つはアメリカクリスチャン教会です。1887年9月25日に現在の日本基督教団石巻栄光教会がアメリカクリスチャン教会から宣教師として派遣されたデービッド・F・ジョーンズ師によって創設されました。その師により、翌1888年5月6日に涌谷教会が開設されました。ですから、2028年に教会創立140年を迎えようとしています。もう一つは組合教会です。1891年7月1日高橋由己牧師によって伝道が開始されています。それぞれ順調に教会活動が展開されました。1930年5月7日の二つの教会が合併しました。それが今日の「涌谷教会」です。会衆主義の伝統の中で教会が育

まれました。

紆余曲折がありました。2020年から代務者であった私が、この4月から主任担任教師として責任を負うことになりました。これまでの経緯をよく知った上で、そして、今置かれている状況も承知の上で、この涌谷の地に播かれた福音のともしびを灯し続けていこうと決意を新たにしています。教会員一同、心を合わせ、知恵と祈りを併せてスタート致しました。

地方の教会は置かれた地域の中で、地道な営みを通し長い年月をかけて信頼関係が培われます。幸い、保育事業を通してかけがえない信頼関係の中で教会活動が評価され、認知されました。しかし、悲しいことにその信頼が崩されてしまいました。一瞬のうちに。辛く、痛ましい限りです。誇りを持って保育園を卒園してくれた多くの方々の心に深い傷を負わせてしまいました。



さし いちろ
佐治 一路さん

多くの人たちの思いを受けて



三崎町教会員、株式会社アイ・パブリッシング代表取締役、ノバテック株式会社代表取締役

株式会社アイ・パブリッシング社長佐治一路氏は5代目クリスチャン。祖父・山北多喜彦牧師が牧会し、両親が属する三崎町教会に小学6年生まで通う。一時は教会を離れたが、叔父・山北宣久牧師に誘われ高校1年生で聖ヶ丘教会にて受洗。現在は再び三崎町教会で教会生活を送る。

半導体事業を生業とし、国内と米国の企業に勤めた後、36歳でIT事業を立ち上げた。米国大手企業の技術サポートにも従事し、現在は20〜30人規模の事業体で大手の製品開発の黒子的役割を担う。

60歳になり「今まで利益の追求に集中してきたが社会に還元できることはないか」と

の志が与えられる。そのさなか教団出版局の窮状を知らされた。助けを乞われ、一部を除いた出版局の事業を引き継ぐことを決断。当初は自身の会社の一部門にすることも考えたが、事業の公共性に鑑み、また様々な人が携わってこそよい出版物を生み出せること、それでこそ次代への継承もなされていくと考え、独立した新会社の設立に至った。

今後の展望としてまず『信徒の友』『こころの友』の新しい形での継続を佐治氏は明言。地方の小規模教会から『信徒の友』が唯一の情報源という声も聞かれるという。

そこで、現行路線を受け継ぎつつ、他教派に視点を広げる。また教会音楽などのキリスト教文化のコンテンツも盛り込んでいきたいと語る。さらには今秋に向けて新刊書籍発行の準備もしている。

また新しい文書伝道の形としてデジタル化にも取り組む。他のキリスト教出版社も相乗りできるプラットフォームや、聖書と讃美歌を文字と音声で利用できる等さまざまな機能のアプリ「わたしの礼拝」(仮称)も開発中だ。

多くの人々の思いを受け、リーダーシップをもって新たな文書伝道に仕えていく。

42年前に奥羽教区の教会に赴任した時、ある先輩牧師が若い牧師たちに、「捨て石になれ」と語られた。牧師は遣わされた地と人を愛し、その地の伝道のために捨て石になるように。決して「風来坊」であってはならないと。

牧師は、自分の働きの成果を求めるのではなく、また、自分の伝道のビジョンを実現しようとするのではなく、遣わされた教会に集う一人ひとりの信仰と祈りを受けとめ、共に神の伝道のビジョンの実現のために励む

ようにということである。

その言葉を胸に今も、教会における働きはもろろんのこと、地区や教区、そして教団における働きにおいても、自分が担っ

捨て石になる

た働きの成果を求めるのではなく、次の世代の働きの土台を堅固なものにする捨て石になることを第一のこととしている。

ベトロは聖霊に満たされて、次のように語った。「この方(イ

エス・キリスト)こそ、『あなたがた家を建てる者に捨てられ、隅の親石となった石』です」(使徒4・11)。十字架で死なれ、死から復活されたイエス・キリストを証しする捨て石にならせてくださいとの祈りをもって、遣わされた地にへばりつくようにして伝道に励んでいる。

「捨て石になれ!」と言われた牧師は、シベリア抑留を経験した後、初任地であった青森の地で再び伝道に励み、伝道者としての生涯を全うした。

(教団総会議長 雲然俊美)